

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2023年12月
結果公表日: 2024年3月29日

回答率

事業所職員: 3名回答、回答率 100%
保護者様: 31名回答、回答率 68%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・法令上の配置は満たしているものの、3名の枠を3名のスタッフで運営しているため、既存のスタッフで支援を行うことが難しい場面では他教室等にヘルプを要請し、その都度対応をしている。
- ・適切に段差を設置、撤去している。

○業務改善

- ・支援後の振り返りに多く時間をとっている。
- ・職員の資質向上のため、定期的に研修を実施している。

○適切な支援の提供

- ・アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。
- ・活動プログラムが固定化しないよう工夫している

○関係機関や保護者との連携

- ・ご要望に沿って学校連携を行い、学校とのやりとりを行っている。

○保護者への説明責任等

- ・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。
- ・運営規程、支援の内容、利用者負担等について説明を行っている。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
- ・虐待防止委員会を設置し、定期的に研修を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・保護者の待機スペースが少々狭い。フィードバックの時間帯などは、ぎゅうぎゅうになっている時がある、とのご意見をいただいた為、フィードバックの取り組みについて見直しをしていく必要がある。
- ・せまい中でよく工夫されて行われている。
- ・心理士さんが配置されていて、定期的に入ってもらっていたのでとても安心感があったとのご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・保護者や子どものニーズに合わせた支援計画が作成させられている。
- ・発達の経過をみて、今必要なことをアドバイスが欲しい。こちらの要望だけで、今の発達に合っているかな？と思うこともあるので、専門の先生にみてもらって、客観的意見なども欲しいと思うことがある、とのご意見をいただいたため、支援の質を高める機会をより積極的に確保していく必要がある。
- ・適宜工作などのプログラムもあり、重宝しているとのご意見をいただいているため、満足度が高い様子が伺える。

○保護者への説明等

- ・毎回、個別に丁寧にフィードバックの時間をとってくださりありがたい、ご意見をいただいた。
- ・保護者会など、保護者同士の関わりの機会は特にない。
- ・フィードバックスペースが他の方と同室のため、支援や相談内容は聞こえてしまっていると思う、とのご意見をいただいたため、見直しをする必要がある。

○非常時等の対応

- ・非常災害時の対応や支援内容について、十分に周知ができていないため見直しが必要。

○満足度

- ・子どもの苦手な部分に応じてきめ細やかに支援してくださり、成長が感じられるとご意見をいただいた。
- ・支援には満足。狭い室内でよく取り組まれていると思う。子どもも先生も快適に過ごせるよう空調や換気などされていると思うが、もう少し行ってもいいのかもしれないと感じる、とご意見をいただいたため、見直しが必要。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・モニターの設置場所を決めて実行する。
- ・毎月支援について心理士等に相談を行い、支援の質の向上に努める。
- ・毎月のフィードバック映像を確認し、振り返りを行う。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・モニターを必ず配置＋必要に応じてご利用者さまのお名前も一緒に配置し、後から来た保護者の方も支援の様子を見れるようにした。
- ・業務前ミーティングで、支援の内容について月1回以上は心理士等に相談を行って支援の見直しをすることができた。
- ・フィードバックの映像の確認は不十分な部分があったが、教室以外のスタッフや心理士にフィードバックの内容を共有し、改善に繋げた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・保護者対応を丁寧に行っている結果、高い満足度を評価としていただいている
- ・心理士がおり、適宜アドバイスをもらって支援に活かすことができている
- ・ご要望に合った支援を行っている
- ・教室で取り組むことのできる内容を利用者の方に理解いただいている

○改善点

- ・フィードバックの時の配置や時間帯を検討する
- ・教室内の換気
- ・支援の質の向上

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・フィードバック時の教室環境の見直し
- ・教室内の換気を徹底する
- ・支援の質の向上

○1年間で取り組む具体策

- ・グループでのフィードバックに加えて、個別でお話ができるような家庭連携等をご提案する。その際、オンラインや相談室で実施をするなど環境に配慮して行う。
- ・定期的に入口、ドアの開け閉めを行う。空気の流れを作るために、空気清浄機やエアコン（送風）を使用する。
- ・月1の業務MTGで支援の内容について1人利用者をピックアップして心理士に相談し、支援の質の向上に繋げていく。